

佳作

ゴキブリ

兵庫県 姫路市立大塩小学校六年 高嶋 緋愛

「キヤー。」

家じゅうにもものすごい悲鳴があがった。げんかんにいたのは、二匹の大きなゴキブリ。私たちは、新聞紙を丸めてゴキブリめがけ何回もたたいた。二匹のゴキブリは、私たちのせいで雲の上に行ってしまった。私はその無惨な姿を見て初めはぞっとした。気持ち悪い、絶対にさわりたくない、と思った。

ゴキブリといえはみんな、「気持ち悪い。見ただけではきそう。」と言う人が多い。中には、「かわい。」と言う人もいるが、一対九の割合でみんないやがる。私は、ゴキブリになって考えてみた。何もしていないのにたたかれ、何もしていないのにいやがられ、逆にゴキブリは人間を恨んだらう。ゴキブリと人間はどちらも命なのにすごい差別があった。私はそんなゴキブリが差別される必要があるのかと

思っ調べてみた。

よく見るとゴキブリは、かわいい顔をしていた。私は、いつもみていた姿とまったくちがくてびっくりした。ゴキブリは、ちゃんとした昆虫だ。私は調べている間にゴキブリが「気持ち悪い」とは思わなくなった。みんなは、触覚が気持ち悪いと言ったり、大きいからいやと言ったりゴキブリのことを好き勝手言っている。たしかにゴキブリは、サルモネラ菌などの病原体を伝播させたりするが、それは食肉のブタやトリ、ほかの野生動物もみんな当り前のように持っている。また、ゴキブリは病原菌をばらまくと言われているが、ゴキブリが原因で起こった病気など一例も報告されていない。しかもゴキブリは、ものすごく綺麗な昆虫で、体を油でテカテカさせて変な病原菌等が体につかないようにしているのだ。人間の足の裏や手のひらなんかよりもよほどゴキブリの方が綺麗だそうだ。他にも、ゴキブリがいなくなると生態系は大きなダメージを受ける、などいろいろなことを調べて分かった。結果、何も人間とゴキブリを差別する点はなかった。

みなさんがゴキブリを見つけても、にがすか、殺すかを決めるのは、人しだいだが、殺したとしても

きちんと天に送ってあげるのが良いのではないだろうか。さすがにいやな顔をして殺すのはゴキブリに失礼だ。もう少しゴキブリのことを考えてあげてもいいのではないか。ゴキブリだって家族がいるし、かけがえのない命なので、これから私はゴキブリにもう少しやさしくしようと思った。いつかは、人と虫と動物と魚が協力していい世界ができたらいいと思った。でも次、私がまたゴキブリを見たとき必ずさげぶでしよう。

「キヤー。」